

R6 学校教育目標『心豊かに 創造する』

重点目標『認め合い 高め合う仲間』



# つきやま

地域とともに 151 年目  
伊豆の国市立葦山小学校  
令和 6 年 5 月発行 第 2 号

祝 開校記念日  
明治 6 (1873) 年 5 月 25 日

## 「認め合い 高め合う仲間」

校長 内田 繁樹

4 月 9 日の入学式、始業式から 1 か月以上が経ちました。5 月 9 日は、体育館に全校児童を一堂に会しての「1 年生を迎える会」が 3 年ぶりに行われました。2～6 年生のあたたかい歓迎の言葉と体育館中に響き渡る校歌のプレゼントが、1 年生に送られました。1 年生の笑顔あふれる素敵な会になりました。中心になって企画運営をした企画委員や 1 年生を優しくエスコートした 6 年生たちも立派でした。



授業を参観していると子供たちの様々な表情を見ることができます。いきいきとした顔の子もいれば、難しい顔をしている子や不安な顔をしている子もいます。そのような中で、重点目標「認め合い 高め合う仲間」につながる場面がありました。

- ① 1 年生の音楽での一場面：カスタネットを使い、言葉の音の数に合わせてカスタネットを打っていました（例「おすし」「タン・タン・タン」）。一人の児童が、長い言葉を上手に打てたとき教師が、「みんな、今の〇〇さん、どうだった？」「～がよかったよね。」と子供の表れを価値付けて全体に広げ、それに自然と拍手で答える子供たち。
- ② 4 年生の書写での一場面：「ふうっ」集中して書いた児童の隣の友達が、「いいね！次、書くときに横をもうちょっと長くしたらもっとよくなると思うよ。」言われた方も“そうかあ”という表情で書いた字を眺めていました。友達のがんばりを認め、更にもっとよくなってほしいという応援の一言。その言葉を素直に受け入れられる肯定的な友達関係。
- ③ 6 年生の体育での一場面：体カテスト「シャトルラン」で苦しそうに走る友達に向かって「がんばれ！」「まだ行ける！」とたくさんの励ましの声。そして、力を出し切った友達へ自然と起こる「がんばったね」の拍手！



紹介したのは三つですが、どこの教室でもこのような素敵な葦っ子の姿が見られています。今後、この輪が、もっともっと広がっていくことによって、一人一人の自己有用感が高まり、さらにお互いのことを認め合えるようになるのではと考えます。

子供たちの様子は、ホームページでも紹介しています。また、授業参観や各学年の行事等で子供たちの様子を見ていただく機会が数多くあります。是非、ご都合をつけていただき、子供たちが関わり合いの中で成長していく様子を応援してください。

## ◇ 蕪っ子 4・5月の学びの姿 ◇

## ◆◆ 6月の行事予定 ◆◆

授業では、仲間の意見を丁寧に「聴く」ことを大切にしながら、自分とは異なる考えに触れることで学びを深めようとしています。



また、様々な諸活動を通して、仲間と協力することを学んだり、仲間のために力を発揮することで自己有用感を高めたりしています。分担場所に責任をもって清掃に取り組む姿や一生懸命に給食当番を努める姿はとても素敵です。



避難訓練では、どのように身を守るかを考えながら避難経路の確認をし、迅速な避難を練習しました。



5月のさわやかな気候の中、朝の3分間走や体カテストなど、運動にも意欲的に取り組みました。



## ◇ 蕪小 PTA「総会・学びのサポート」 ◇

今年度も各教室を会場としたオンラインによる PTA 総会を行いました。神馬前会長は、子供の学び支援を中心に据えた PTA 改革の初年度の取組をビデオ映像で分かりやすく紹介し、各議案の承認報告を丁寧に行ってくださいました。バトンを受け継いだ木内新会長からは、蕪小 PTA のさらなる発展への意欲が力強く語られました。

全家庭で子供たちの学びをサポートし、子供たちの豊かな学びの環境を整えようと尽力くださる蕪小PTAにあらためて感謝申し上げます。

学校ホームページには、授業や行事での児童の様子、地域の方との連携等について、日々の情報を掲載しています。各種おたよりもご覧いただけます。  
(<http://nirayama-sho.izunokuni.ed.jp>) 右の QR コードもご利用いただけます。

